



新年一年度のまとめーの始まりにあたって

～次に「つなぐ」意識で～

校長 藤森克彦

令和4年、新春のお喜びを申し上げます。昨年も新型コロナ感染拡大防止について、保護者や地域の方々の皆様に多大なご理解ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

さて、今年寅年にあたりますが、寅といえば私ぐらいの年齢層ですと「男はつらいよ」でしょうか。また、担任をしていたころ、教室で子どもたちに一休さんの「屏風のトラ退治」の話をしていたことが思い出されます。「とんち」が評判だった一休さん（小僧）。そのうわさを聞きつけた殿様が一休さんをお城に招き入れ、「そこにある屏風に描かれているトラを縛りあげてくれぬか」と無理難題をふっかけます。「本当に怖そうなトラですね。縛りあげてご覧に入れますので縄を貸してください」。家来が持ってきた縄を手にとると「それでは殿様、トラを屏風から追い出してください」と一休さん。殿様「何を言うか！屏風に描かれたトラを追い出せるわけがなかろうが」。一休さんはにっこり「それではトラは屏風からは出て来ないのですね。安心しました」。殿様は思わず手を叩き「あっぱれじゃ！ほうびをつかわすからまた来るがよい」。一休さんは満足そうにたくさんのほうびを抱えてお寺に帰りましたとさ。…と、少々長くなりましたが、当時は一休さんの瞬時にとび出す知恵、機知にあふれた「とんち」話に盛り上がったものでした。

ところで、今年も正月恒例の箱根駅伝がありました。毎年、勝敗の行方や選手個人の活躍など輝かしい場面が期待されるのですが、チームのために全力を出し切るといった学生らしい、ひたむきな姿に心を揺さぶられる方も多いのではないのでしょうか。言うまでもなく駅伝の魅力は、たすきをリレーするところにあります。レギュラーメンバー10人全員が強豪選手でも、そのうち一人が棄権してしまったらその時点でレースは終わってしまいます。何よりもたすきを次の選手に渡すことが最優先であり、途中で苦しくなったり調子が悪くなったりしても勝手にやめるわけにはいきません。

今回（98回大会）は途中棄権した大学はありませんでしたが、過去には十数校あるそうで、携われた方々の無念は想像に難しくありません。何年か前の大会でしたが、選手がレース途中で膝に手を当てて前かがみになりながら何回も止まったり、ふらふらになって走り出したりする姿が映し出されていました。監督が選手のそばに寄って一言二言話しかけては走り出すといった具合です。結局これ以上走らせては危険だと判断し、走るのを止めさせ棄権を選択しました。後の選手のコメントでは、「チームのみんなや応援してくれた人たちに大変申し訳ないことをしてしまった」と涙ながらに話していました。次に「つなぐ」ことへの高い意識と、つなげるために「責任を果たす」ことの重みが伝わってきます。

我々学校教育においても、子どもたちの成長の一瞬一瞬をチームで見守り、力を合わせて育てています。また、子どもたちがスムーズに、そして着実に成長できるよう、下学年から上学年に向けて「つなぐ」意識に重きをおき取り組んでいるところです。時間が過ぎれば自然に次の学年に進級したり中学校に進学したりする、といった意識では6年間をトータルした教育効果は期待できません。3学期は5年生は最高学年に、1年生は2年生、そして上級生へと、子どもたちの力を次のステージにバージョンアップさせていく時期でもあります。時がきたら「とんち」のように瞬時に解決できるというものではありません。

年度末には進学や進級を意識した学校行事もありますが、まず、次のステージでは何が必要なのかしっかりイメージし、「つなぐ」を持続的に意識しながら1年間のまとめの時期を過ごしていきたいと思えます。

本年もよろしくお願いたします。

家庭科「『海苔』と『乾物』」の授業

6年担任：中村 香織

佐賀県にある海苔の会社の方や漁業組合の方、商社の方を講師にお招きした出張授業をしました。4年生の時、大森貝塚の学習で、縄文時代の人は貝など海産物を獲って生活していたこと、近くに海苔づくりが盛んな地域があることを振り返りながら、講師の方から『海苔』の歴史等を学びました。

試食タイムでは海苔挟み機で海苔を挟んで熱を当てました。パリパリ感が出て、食べてみると、「風味がいい」「等級ごとに食べた感触が違う」「1等級の海苔は口の中で溶ける感じだった」と、食べた感触を確かめ合い、子どもたちは嬉しそうでした。続いて、『乾物』ってどんな食材なのかについて学習しました。見たり、触ったり、比べたり匂いを嗅いだりして、乾物という食材を五感で確かめてみました。

最後のお麩のおやつ作りは、グループの皆で協力し合い、準備や片付けまで張り切っていました。

昨年経験できなかった調理実習を子どもたちが経験できたこと、子どもたちの嬉しそうな笑顔が、何よりの収穫となりました。



ドリームジョブ

5年担任：曾根原 和明

「自分にとって働くとはどういうことだろう」この1ヶ月間、5年生が真剣に向き合ってきた問いです。調べ学習や保護者へのインタビューを通して、自らの勤労観を見つめ直しました。学習後のまとめを紹介します。

- 「働くとは大変なものではあるけれど、自分がその仕事（当番）についての理由や、誰のために仕事をしているのかを想像してみるといいと学びました。」
- 「当番をするときや、家のお手伝いをするときは『他人の役に立てること』と思って、プラスのイメージをもち、やりがいを見つけてやっていきたい。」
- 「誰かのために役立てることをして、自分もよくなっていくことだと思いました。」

1ヶ月前に理想の働き方を聞くと「お金をたくさん稼ぎたい」、「仕事で認められたい」などの考えが生まれました。学習を通して、これらの自分軸の思いに加え、他者への貢献の意識を広げることができました。早くも数ヶ月後には最高学年となり学校のために活躍する場面が増えます。展示会の片付けを頑張る姿や、ドリームジョブで学ぶ姿から、きっと素晴らしい働きを見せてくれると確信しています。



フレンドまつりでの大役を終えて

4年担任：谷原 未央

12月17日(金)にフレンドまつりが行われました。それぞれのフレンド班で5、6年生を中心にどんなお店にするかを話し合い、準備を進めてきました。1～4年生は、お店をまわる客の役でしたが、4年生は大きな役割がありました。それは、下級生のお世話をしながらリーダーとして活躍することです。そのために、それぞれのクラスでは、リーダーとしてどのような行動をするべきかを考え、1～3年生に伝えなくてはならないことを整理しました。子どもたちのめあてはどれも、「1～3年生に楽しんでまわってもらえるようにしたい」という思いにあふれていました。

当日は緊張しながら、「みんなついてきてね」「トイレは大丈夫かな」と声を掛け、しっかりと下級生を引っ張る姿が見られました。役目を終えて、教室に帰ってくると、「疲れたなあ」「でも1～3年生の子たちが楽しんでくれたからよかった」とそれぞれが達成感に満ちた顔で伝えてきました。高学年の大変さ、充足感を味わい、成長できた1日でした。



避難訓練 煙ハウス体験

3年担任：中元 早紀子

12月1日(水)の避難訓練は、地震と地震後に発生した火災からの避難を想定して行われました。子どもたちは「お・か・し・も」のきまりを守って速やかに避難行動をとることができました。

3年生はその後、大井消防署の協力を得て煙ハウスの体験をしました。先日は大阪での痛ましい報道がありました。火災発生時に恐ろしいのは炎よりも煙です。煙は上へとぼっていき、身を低くすること、煙を吸わないためにハンカチやハンカチがない場合は袖などで鼻や口元を覆うことを教わりました。実際に煙ハウスの中に入った子どもからは、「ほとんど見えなかった」など視界の悪さについての感想が多くあがりました。

災害はいつ起きるか分かりません。地震や火災が起きた時、自分の命を自らの力で守ることができるよう、これからも避難訓練に取り組んでいきます。今回の体験は、「煙」という普段の避難訓練では意識しにくいものへ意識を向ける貴重な機会となりました。



チャレンジジャンプ大会

2年担任：岸田 淳生

2学期チャレンジジャンプ大会に向けて、各学級で少しずつ記録を伸ばしていきました。1学期には100回が大きな目標でした。

2学期には連続跳びができる児童がだんだん増えていき、それに伴って記録も伸びていきました。100回を安定して超えるようになり、さらに「O組は140回らしい」と情報収集をして学級間で競い合いながら取り組んでいくようになってきました。

12月16日(木)チャレンジジャンプ大会本番前には各学級のベスト記録が僅差で、どの学級にも優勝の可能性と優勝への思いがありました。

結果は、松組151回、竹組147回、梅組196回、月組156回となりました。3学期には、チームワークを高めてさらに記録を伸ばし、4学級でよいライバルとして競い合っていきます。

未来の1年生にとどきますように！

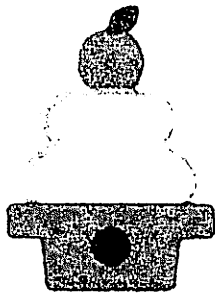
1年担任：伊藤 知美

品川区では毎年、新1年生が小学校生活にスムーズに入れるように、小学校と保育園、幼稚園との交流事業を行っています。これまで大井第一小学校も、近隣の保育園児を招いて、一緒に授業を受けたり給食を食べたりする活動を行ってきました。しかし昨年度は、コロナウイルス感染拡大の影響により実施を見送りました。

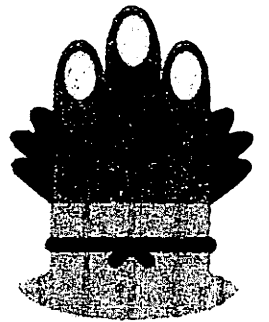
そこで今年度は、プレゼントと動画による交流を企画しました。それぞれ分担してクリスマスプレゼントと、大ーを紹介する動画を制作しました。

クリスマスプレゼントは、クリスマスツリーとサンタさんの絵です。ツリーは、生活科で集めたまつぼっくりを使いました。ラッピングも子どもたちで頑張りました。紹介動画では、展示会に出展した1年生自慢のパペット「ぱくぱくさん」が活躍しました。インタビューで6年生の教室へ行き、協力してもらいました。ぱくぱくさんたちは大ー自慢の場所を生き生きと紹介することができました。





年間重点生活目標「大一ABCを身に付けよう」
 今月の生活目標
 生活のめあて 最後まで聞く
 保健のめあて うがいと手洗いをしよう
 給食のめあて 好き嫌いしないで食べましょう



1月の行事予定

日付	曜日	主な行事	日付	曜日	主な行事
1	土		17	月	避難訓練 起震車体験(4年)
2	日		18	火	放送朝会 計測(6年) 保護者会1・3・5年
3	月		19	水	計測(5年)
4	火		20	木	計測(4年) 保護者会2・4年
5	水		21	金	児童集会 計測(3年) 書き初め展終 クラブ⑦
6	木		22	土	
7	金		23	日	
8	土		24	月	計測(2年)
9	日		25	火	放送朝会 計測(1年) TGG(4年)
10	月	成人の日	26	水	
11	火	始業式 午前授業	27	木	
12	水	給食始 CAP(3年)	28	金	音楽朝会 クラブ⑧
13	木	CAP(3年)	29	土	
14	金	委員会⑨ CAP(保護者)	30	日	
15	土	安全指導 市民科授業地区公開講座 書き初め展始	31	月	
16	日				

生活指導部より 慣れと寒さに負けないで!

生活指導部 近藤 千絵

新型コロナウイルス感染症との闘いも、今年で3年目になります。一人一人が感染症対策を本
 当によく取り組んでいると感じます。しかし、基本的な感染症対策(手洗い・うがい・マスク・
 消毒・換気など)は、慣れてくると気持ちがゆるんでしまい、今までできていたことが疎かにな
 ってしまうことがあります。さらに、今はまだ寒いので、手洗いも億劫に感じることもあるかも
 しれません。感染症対策は、自分と周りの人の健康と命を守るマナーでもあります。慣れと寒さ
 に勝って、感染症にかからない・うつさないようにこれからも取り組んでいきましょう。

リレーコラム「かかわる、創る」

1年担任 高橋 璃子

入学してからできるようになったことが増え、友達の輪が広がってきた2学期に、クラス目標を全員で
 考えました。今までの学級の様子を振り返りながら、「1年生が終わる3月に、どんなクラスになってい
 たいと思う」という問いに、皆の思いが集まりました。そんな一人一人の思いを大切にしながらまとめて、
 3つの目標が完成しました。

クラス一丸となって目指すものが、はっきりしました。生活の中で意識しようと「クラス目標にも入っ
 ているよ!」と、声を掛け合う姿を嬉しく思います。

皆で話し合っ考えたこの目標が、合言葉のように、クラスの子もたち同士心をつなぐものとなり
 ますように。目標通り、35人の笑顔が溢れるクラスを目指して、担任としても尽力してまいります。

ケーブルテレビ品川で放映されました、本校の展示会の様子が、このたび品川区公式 YouTube チ
 ャンネル「しながわネットTV」で動画配信されています。よろしかったらご覧ください。